

会 議 録 (要 旨)

会議の名称	第4回戸田市文化芸術推進審議会
開催日時	令和7年12月19日(金)午後2時～午後3時30分
開催場所	戸田市役所 7階 第5委員会室
出席者氏名 (委員)	会長 友岡 邦之 (高崎経済大学教授) 副会長 金子 篤徳 (戸田市文化協会副会長) 委員 駒崎 雅彦 (戸田市文化会館館長) 委員 穴戸 幸子 (戸田市美術展覧会実行委員会委員長) 委員 益子 葵 (公募市民) 委員 河合 尚市 (公募市民) 委員 秋元 幸子 (市民生活部長)
欠席者氏名 (委員)	委員 川和田 亨 (教育委員会事務局部長)
事務局	文化スポーツ課 株式会社社会構想研究所
議 題	(1) 文化芸術推進基本計画 各施策の主な取組について (2) 文化芸術推進基本計画 パブリック・コメントについて
会議の経過	別紙のとおり
議事録確定	令和8年2月19日 会長 友岡 邦之

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	■開会
事務局	■議題（１）文化芸術推進基本計画 各施策の主な取組について 文化芸術推進基本計画 各施策の主な取組について説明
会長	施策ごとに確認をしていきたい。 施策１について意見はあるか。
委員	アーティストバンク登録者数の目標値の根拠は。
事務局	制度設計を行ってから徐々に登録者を増やしていくというイメージで設定している。
委員	少なめに設定しているということか。
事務局	５年間の計画になるので、制度設計を含め少しずつというイメージである。
会長	委員のご指摘はおっしゃる通りで、若干少ない気はする。戸田市にはもう少しアーティストがいるのではないか。ただ、目標値は年度ごと修正可能であり、適宜見直していくことが大事だと思う。 アーティストバンクは、作ったはいいが利用されないことがある。多く利用してもらうためにうまく周知する仕組みが必要である。他自治体では、アーティストバンクの活用が進んでいるところもある。成功と不成功と、参照事例として調べるといい。
副会長	１７ページの文化教室実施の括弧内は、例示ということか。 粘土彫刻、日本画教室等と具体的に出ると他の種別の団体が記載してほしいと要望が出るのではないか。もう少し抽象的に幅広く表現した方が良いのではないか。
事務局	元々は、近年市展出展者数が減ってきており、その底上げをすることを目的として始めた経緯がある。そのため、具体的に記載し、かつ、「等」としてある。また、ここは「主な取組」であることから、これだけに特化していくものではない。例えば美術以外の種別も検討することは可能である。少し抽象的にした方が良いということであれば、その方向で表現を改めたい。
副会長	他の種別もあるので、抽象的な表現が良いと思う。
事務局	表現を見直していく。

会長	見出し的に名前が出てくることは省いて、下の画像に取組の例という形でキャプションをつけてもいいのではないか。
事務局	画像にはキャプションをつけていく。
会長	他にあるか。
一同	なし
会長	施策2について意見はあるか。
副会長	<p>19ページの主な取組で、文化会館における指定管理業務というのは大事だが、他の文化協会やその他の文化芸術団体について記述がなくていいのか。18ページの指標には文化協会所属団体における事業数がある。そのような点でも、取組として包括されているという考えでいいのか。文化祭等も記載した方がいいのではないか。</p> <p>各団体が計画を見たとき、団体に対する支援等の取組が記載されていないと感じると思うので、団体に係る取組が見える表現にして欲しい。</p>
事務局	<p>指標に対する取組が見える状態になっていないというご指摘であると思う。本施策では、市が文化協会所属団体等に対して環境整備や支援をしていくことで活性化を図るという考えがある。これまでの審議会において、団体に対する補助金の充実や場所の確保などのご意見をいただいた。特に、補助金の部分は市としても確定することが難しいので、団体の活性化のための支援というような記載をしていくということかどうか。具体的な支援をどうやっていくかはこれから検討していくことになるが、本施策のねらいは各団体の新規会員獲得や会員の高齢化や、文化祭の観覧者が集まらないという現実の中、市民や団体の活動を活性化させていくというものである。何ができるかということは本計画期間の中で検討し進めていく。</p>
会長	<p>その意図は、主な取組の3つ目のところの文化芸術団体の新規会員募集というところに込められていると思う。</p> <p>18ページで「文化協会所属団体における事業数」が指標であがっている意味を考えると、副会長の発言の意味もわかる。これもある自治体でテーマになった話だが、今後の文化行政の方向性として、市民の自発的な文化活動や表現活動を自立的にそれぞれの団体が主体的に動いているような流れこそ支援すべきではないかという議論があがっている。それこそが今後の文化芸術活動の充実という点でも重要だというような議論が、私が関わっている別の会議でもあった。そういう意味では、文化会館を中心とし</p>

	<p>た指定管理業務の充実ということと並行して市内にある文化団体の活発化のようなことが明示されてもいいのかもしれない。ただ、それを主要な取り組みとしてどういう事業をあげていくのかということは検討が必要である。</p>
副会長	<p>指定管理業務とともに、行政そのものが行う事業が並列して書いてある。少なくとも指定管理者による取組より先に市の取組が記載されるべきと考える。</p>
委員	<p>具体的な取組については、今後、パブリック・コメントを実施する中で確認するのはどうか。</p>
事務局	<p>議題2のパブリック・コメントで行なう内容においては、具体的な取組に関して諮るものではなく、この計画の考え方、方向性に関してご意見をいただくことになっている。一方で、この計画をスタートさせたときに、サークルや文化協会所属団体など、市の中で文化芸術活動が活性化していくことが我々の使命であり、どういった仕組みを作っていくか、どういった支援をしていくかということ把握し、より良い仕組みを構築していくことを考えていければと思う。</p> <p>計画の進捗に関しては、本審議会において委員の皆様には状況を説明し、毎年審議いただくサイクルになっていく。</p>
委員	<p>19ページに主な取組が4つあり、指標に文化協会所属団体における事業者数と指定管理業務における文化事業の参加者数及び鑑賞者数がある。主な取組の1つ目「指定管理業務における文化事業の充実」は、文化会館のことで、他の3つは施策2全体にかかっているものと考えてよいか。</p>
事務局	<p>2つ目以降のものに関しては、文化会館事業だけに関わるのではなく、全体として地域の文化芸術活動を活性化するという取り組みとして考えている。</p>
委員	<p>3つ目のデジタル配信を活用した文化芸術事業等の周知及び文化芸術団体の新規会員募集について、これも最終的には団体の活性化のための支援の一つになるため、目的と手段を逆にした表現にすると、先ほどの副会長の発言とリンクするのではないか。</p>
委員	<p>実際には新規会員募集を市が直接やるわけではないので、新規会員が増えるように市が支援するというほうが適切で、内容を整理したほうがよい。</p>
会長	<p>新規会員が増えるような支援を行なうという書き方にする。</p>

事務局	活性化させるためにデジタルを活用する。そのツールを使って各団体が新規会員を募集するという意図がわかるようにする。
副会長	行政と指定管理業務の関係をわかりやすく。先に指定管理業務というのが出てくるので違和感がある。他の細かいところは事務局で調整していただきたい。
会長	並びを意識して欲しい。 他にあるか。
一同	なし
会長	施策3について意見はあるか。 まず、私から確認であるが、1つ目の、市の文化芸術に関する各種事業実施について、括弧内に「各分野の」とあるが、これは文化担当以外のセクションの福祉や教育などという意図か。そのところはもう少し伝わりやすい形で表現したほうがよいのではないか。施策の方向性では明確に示されているが、主な取組でもそこが伝わるような書き方がいのように感じた。このように、他の領域である教育や子育てや福祉などの分野に文化芸術活動が関わっていくという方向性は国の方針でも明確化されているので、それを意識した書きぶりになるといいのではないか。 他に意見はあるか。
一同	なし
会長	施策4について意見はあるか。
副会長	22ページの指標の参加者数、鑑賞数などに各公民館の事業を入れると収拾がつかなくなるか。
事務局	これは総合振興計画の指標を合わせた形で設定しているため、公民館は入っていない。また、前回の審議会でも少し触れたが公民館の講座・サークルは、教育委員会の生涯学習課の所管として教育振興計画や生涯学習計画で取組の充実を図っている。本計画は市長部局として進めており、いわば棲み分けを行っている。その上でどう連携を図っていくかは重要だと認識している。本計画に入れる指標としては、市長部局の所掌の範囲として設定している。条例の下、本計画を策定することとなっており、条例において市の重要資産である文化財や歴史などに重きをおいていることから施策5に教育委員会所管の文化財が入ることになっているが、基本的には連携して事業は進めつつも、ある程度棲み分けしていくため、施策4ではこ

	のような指標設定としている。
会長	これは、戸田市に限らず日本中の文化行政が、昔は教育委員会の中に文化行政があったものが切り離されて市長部局に文化行政だけに移り、それが生み出した弊害といえる。生涯学習関係の活動と文化協会系の団体の活動は重なる部分が多いが、それが縦割り行政の中で分けられてしまうという状況が日本の自治体の中には70年代くらいから起きている。これは悩ましく如何ともしがたい状況ではあるが、敢えてご検討いただけるのであれば、施策3で文化の取り組みが教育にもかかわるとい話をしているので、施策3の中で公民館活動への目配りのような記述があってもいいのかとも思う。教育の中にある文化的な活動も重要だということを文化担当セクションから指摘することがあってもいいと思う。
副会長	まちづくりということになると、市民全員で進めたい。生涯学習関係の活動と文化協会系の団体の活動を両方やっている人から見ると、セパレートされたような感じに思える。以前話をした青少年も同じである。何とか加えて欲しい。
事務局	今回の計画は、施策3は他の分野との連携の中で文化芸術という切り口で活性化させようということを考えると、そこを切り分けるというよりはむしろ融合させていくということがうたえている施策だと思っているので、そこに触れていくことで、主として文化スポーツ課がやる事業ではないが相互に、たとえば公民館で実施していることを文化スポーツ課が発信する等、可能であるし実施していくべきだと考えているので、施策3のところで上手くその要素に触れられるように検討していきたい。
会長	よろしく願いしたい。 他に意見はあるか。
一同	なし
会長	最後に施策5について意見はあるか。
一同	なし
会長	今回出された意見を事務局は参考にしていきたい。
委員	教育委員会と市長部局の棲み分けとジョイントということがあった。そのため、本審議会に教育委員会の方がメンバーとして入っていると思う。教育委員会の意見も聞いて共通認識が持てると良い。 それから、文化会館はあっても美術館がない。戸田市美術館を造るのはど

	うか。
委員	<p>計画に活性化をはかる仕掛けがいろいろあるが、出会いの創出ともあるが、やはり場所が必要だと思う。音楽面とか、美術でいえば市展を文化会館でやっているが、もう少し美術芸術に特化した、戸田市以外の人、戸田市美術館にはこういう展示があるとか、人を呼んでこられるような受け入れ態勢があれば、アピールになる。文化といったときに美術館がないのは片手落ちかと思う。郷土博物館も図書館の上であり、展示を実際に観たこともある。郷土博物館と美術館の機能があるものを創設する。そして、現在の郷土博物館のスペースには図書館として蔵書を増やしてはどうか。あるいは、戸田市文化会館は1981年にできた建物で来年1月14日に45歳になる。これを機会に、美術館と文化会館、音楽と美術が一つになった大きな施設というものを作る。突拍子もないかもしれないが、せっかく文化芸術推進基本計画というものができて、大きく舵を切るこのタイミングであるため、長い年月にわたって実施するもの考えてもいいのではないか。</p>
副会長	<p>戸田市は、財政的に厳しいところもあり、文化会館の一部の場所で美術館的なことはやっている。本当は文化施設を創ってほしいという思いはあるが、学校など施設の老朽化による建替えが続き厳しいのだと思う。</p>
委員	<p>文化会館のワンフロアに小さな美術館を作り、立派な方々の名作を定期的に交換しているという話を聞き、訪れたが、もう少し大きければ良いと感じた。市で所有している絵は沢山あると聞いているので、市役所の中にも展示できないかなと思う。</p>
委員	<p>あったら良いと言われる方がいる。この界限で美術館ができると良いと思っている。</p>
会長	<p>事務局で、まずは揉んでいただければと思う。ちなみに、戸田市では今まで美術館設置構想などの話が出たことはあったか。</p>
委員	<p>かなり前であるが、図書館・博物館を大規模改修するときに、美術館的な話が出たことはある。ただ、温度・湿度の管理や照明など、美術館の基準を満たすのにかなり厳しいという話があった。一度話があったとは聞いているが、具体的にどこまで話が進んだかということは、分かり兼ねる。</p>
委員	<p>それはその時だけで立ち消えになったのか。</p>
委員	<p>図書館・博物館を改修するときの話なので、どういう改修をするかという</p>

	ときに出てきた話だと思う。そのあと、別に美術館を作るという話にはならなかった。
会長	こういう話は、市民からの気運が大事で、複数の方々に提案的な活動を盛り上げていく必要がある。15年くらい前に美術館を造ろうという運動があり造った自治体がある。造るまでにはすごく議論をして、市民団体が作られて、その中で本市にとって必要な美術館とは何かという議論を重ねていって、その上で行政にも働きかけて首長にも働きかけて美術館を実現させた事例がある。もし市民の皆さんがお考えであれば、検討することは悪くないと思う。
委員	文化会館にあるアートギャラリーは、何年かかかって造られたものであるか。
委員	文化会館の5階の展示は、結婚式場の営業をやめて改装するとき、市が保有する絵がたくさんあり、普段飾らないものがあるため、それを飾るスペースをとということで、空調とかアクリル板等を施しアートギャラリーを設置した。今でも2年に1回程度文化スポーツ課で展示替えをしている。
副会長	アートギャラリーは文化会館の指定管理者で運営しているものではないのか。
委員	市の方で市が所有している絵を定期的に替えている。
委員	小さい美術館である。
委員	オープン時にはトークショーも実施した。アートギャラリーは文化会館の5階にあるが、そこまで足を運んでくれる人もいる。
副会長	活動場所が少ないので、例えば、土日の市役所閉庁日に貸室をやってはどうか。学校の放課後の体育館では貸出を行っている。そのような仕組みを取り入れてもらえれば、わざわざ施設を建てなくても活動場所を確保できるのではないか。
会長	この話は夢があるのでいろいろ話をしたいところではあるが、議題2に移りたい。
事務局	■議題（2）文化芸術推進基本計画 パブリック・コメントについて 文化芸術推進基本計画 パブリック・コメントについて説明
会長	パブリック・コメントを実施したが意見が出ないというのも寂しい話なので、ぜひ戸田市の市民の皆様目に留めていただいて多くの意見を出していただくという仕掛けを考えられればと思う。

委員	周知ということであれば、回収率を上げるには興味を持っている人を対象にすることが大事で、例えばパブリック・コメントの資料を文化会館の催事の時にプログラムに挟み込むとかして、より関心の高い人にこれが伝わるような方法をとるのはいかがか。
事務局	これ自体を配布することについては、市のパブリック・コメントの制度要綱でどこに設置する等の制約がある。今回は通常の資料公開場所に加え、文化スポーツ課の所管であるスポーツセンターと文化会館を追加している。また、刷ったものをその場で見るだけでなく持ち帰っていただけるような形にしている。パブリック・コメントは、市ホームページで公開するとともに、市の広報でもパブリック・コメントの募集ということで記事を掲載している。この時期は多数のパブリック・コメントがあるので、その中で差をつけたらというご意見は貴重であるが、定められたルールの中で可能な限り広げながら実施している。また、委員の皆様をつながりの中で広げていただけるとありがたい。
会長	ここの委員の皆様がある意味一番強力なメディアだと言えるので、ぜひ、お願いしたい。
委員	12月の広報にパブリック・コメントがたくさん出ているのを見た。私も興味がある人には情報提供している。持ち帰りの資料に二次元コードがあれば便利である。
事務局	技術的なこともあるので検討したい。
事務局	<p>■ 3 その他・連絡事項</p> <p>次回第5回審議会については令和8年2月10日に開催する。</p>
	<p>■ 4 閉会</p>